

沖縄を「平和な観光地」と感じたのは×○？

「政府の全国旅行支援事業」を充分活用させていただき、昨年12月、沖縄本島および石垣島へ4泊5日の金婚記念旅行をした。

いくら観光需要喚起策とはいえ随分不公平な政策だと思わざるを得なかった。

さて、沖縄のお話、那覇市内を中心に、南風原（はえばる）村に掘った約30の横穴壕「旧沖縄陸軍病院壕」、血と膿と糞尿の臭いが充満し、医療品不足から麻酔無しの手術で悲鳴が響き渡っていたという、すさまじい光景を思い起こした。そこへひめゆり学徒が450mほど離れた炊事場から約14kgの樽を運んだ道：「飯あげの道」を案内してくれた語り部は、皆高齢化で先を案じていた。

戦没者24万人を刻む「平和の礎」や「ひめゆりの塔」「首里城公園」では修学旅行シーズンで高校生の団体が多かった。皆さん楽しそうで、でも真剣にメモなども取っておられた。北海道のある女子高生が、話しかけに気軽に「戦争は嫌です！」と答えてくれた。

土産品や飲食店で賑わう「国際通り」では地域クーポンを利用してくれるので有難い、でもまだまだお客さんの戻りが少ない、なお一層の観光客増加、景気回復を望んでいた。

那覇から石垣島へ45分の飛行、2日間島巡りを楽しんだが、今3月開所予定の陸上自衛隊石垣駐屯地工事、地下化され敵基地攻撃用ミサイルの配備も取り沙汰されているにも拘らず、観光地そのもので島の人々のむしろ平和ささえ感じられた。

沖縄市内でもそうだ、3日間米軍・自衛隊機の騒音さえ聞こえなかった。普天間や嘉手納に行けばうるさかったのだろうか？辺野古にも行くべきだったのか？もう一度コースを変えて沖縄を訪れたい！
(朝日ヶ丘町 上野隆壽)



18周年記念のつどい

5月28日(日) 14時~16時30分
芦屋市民センター(予定)

講師：^{ふせゆうじん}布施祐仁さん

(1976年生、フリージャーナリスト)

布施さんは20年以上にわたって日米同盟の動向を追いかけ、近年は南西諸島を回って取材してきた気鋭のジャーナリスト。2016年自衛隊南スーダンPKO部隊の日報隠ぺい問題を暴き、現地が戦闘状態であったことを明らかにした。石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞を受賞。

講演では、安保3文書、敵基地攻撃論の問題、虚構の「台湾有事」などについてお話しいただく予定です。

詳細が確定しましたら、次回4月号ニュースでお知らせします。安全保障や防衛問題などに詳しい布施さんのお話を是非お聴きください。

近著：『自衛隊海外派遣 隠された「戦地」の現実』集英社新書、集英社、2022年4月
『日米同盟・最後のリスク なぜ米軍のミサイルが日本に配備されるのか』創元社、2022年5月



戦争反対の声を届けよう！

「戦争反対、平和憲法を守ろう」等、意見を送りましょう。主な機関を掲載しています。

首相官邸 <https://www.kantei.go.jp/>

自由民主党本部

〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話：03-3581-6211(代) FAX：03-5511-8855

公明党本部

〒160-0012 東京都新宿区南元町17
電話：03-3353-0111(代) FAX：03-3353-0457

立憲民主党

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話：03-3595-9988 FAX：03-3595-9088

日本維新の会

〒542-0082 大阪府中央区島之内1-17-16
電話：06-4963-8800 FAX：06-4963-8801

日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
電話：03-3403-6111 FAX：03-5474-8358

カンパのご協力有難うございました

年末にお願いいたしましたカンパに、ご協力をいただき本当に有難うございました。引き続きお受けしておりますので、よろしく願いいたします。芦屋「九条の会」代表 久保富三夫